

# もりただより

vol.9

発行責任者  
森田 卓司  
岡山市建部町大田  
4750-20  
TEL:0867-22-9900  
FAX:0867-22-9911  
発行年月日  
'09.2.1

岡山市は本年4月1日全国で18番目、中国地方で広島市についての政令指定都市に移行することが決定致しました。合併地域の議員の1人として、政令移行に係わる機会を頂いたことに感謝をすると同時に、政令市になかでのような地域づくりにするかと課題に対して大きな責任と、役割の大切さを痛感しています。

政令指定都市になって市民生活がどう変わるのか。区の名称・区役所の位置・区役所の区長等は報道等で発表されていますが、その他、国・県道の市への権限移譲他多くの事務事業が県から市へ移譲されます。4区の中で人口・面積が最大の北区には、リサーチ

## 合併4地域の住所表示の変遷

時点	御津地域	瀬崎地域	建部地域	瀬戸地域
合併前	御津郡御津町大字 金川1020番地 (岡山市・御津町・瀬戸町が合併)	児島郡瀬崎町 片岡207番地	御津郡建部町 福渡489番地	赤磐郡瀬戸町 瀬戸45番地
H.17.3	岡山市御津 金川1020番地	岡山市瀬崎町 片岡207番地	(岡山市・建部町・瀬戸町が合併)	岡山市瀬戸町 瀬戸45番地
H.19.1			岡山市建部町 福渡489番地	岡山市瀬戸町 瀬戸45番地
H.21.4	(岡山市が政令指定都市へ移行)			
H.21.4	岡山市北区御津 金川1020番地	岡山市南区瀬崎町 片岡207番地	岡山市北区建部町 福渡489番地	岡山市東区瀬戸町 瀬戸45番地
H.22.3	(御津合併特別区が解散)	(瀬崎合併特別区が解散)	(建部合併特別区が解散)	(瀬戸合併特別区が解散)
H.24.1	※地域内有権者の過半数の署名を集め、合併特別区長と同協議会長の連名で市へ要望書を提出。議会へ議案提出。 ↓ 議決の場合 岡山市御津 金川1020番地	※要望書を提出しない場合 岡山市南区 片岡202番地	※地域内有権者の過半数の署名を集め、合併特別区長と同協議会長の連名で市へ要望書を提出。議会へ議案提出。 ↓ 議決の場合 岡山市北区建部町 福渡489番地	※要望書を提出しない場合 岡山市東区 瀬戸45番地

※特別区解散後の住所表示は仮定です。

平成20年度1月臨時市議会開催(1月16日)  
補正予算を可決(補正総額9億39百万円余)

※建部地域関係  
・建部町下神日市道19号線新設改良事業費  
・建部町中田市道17号線交通安全施設整備事業費  
(岡山市緊急経済対策生活道路緊急整備事業費)

## 合併地区の住所表示についての取り扱いはどう考えているのか

合併協議の中で、町名・字名の取り扱いの項目では、議論・説明がなかったと記憶している。今この議論をするより、事態が事前に分かっていたらならば当局は十分時間がとれる間に合併地区に対して説明をするべきで、配慮を欠くのではないかと。再質問 御津では、署名を集める方針とお聞きしましたが、建部町・瀬戸町特別区が旧町名を残すことを希望した場合、署名を集める時期等の基準は持っているのか。

森田 卓司

(1) 合併4地域の住所表示は、合併特別法の規定に基づき、合併特別区の名を冠しているが、特別区期間終了の5年で旧町名は消滅すると聞いている。

(2) 署名を集める時期の定めはない。早期に特別区の中で議論を頂き旧町名を残す盛り上がりの下で署名を集めることは可能である。

(3) 署名を集める時期の定めはない。早期に特別区の中で議論を頂き旧町名を残す盛り上がりの下で署名を集めることは可能である。

(再質問) 関係機関、団体等と連携しながら積極的に取り組む。



11月定例会市議会個人質問

平成20年9月1日から9月18日まで9月定例会岡山市議会が、又平成20年11月27日から平成20年12月22日まで12月定例会市議会が開催されました。本会議での、質問・答弁を中心に報告致します。又、10月には一般会計・特別会計・企業会計決算審査特別委員会が開かれ、慎重審議の上認定されました。

### A 新市建設計画 推進局長

(1) 合併地域の旧町名に対する市の方針は

- (ア) 原則旧町名等はつけない。
- (イ) 類似町名は紛らわしいので旧町名を残す。
- (ウ) それ以外で旧町名を残す場合は地域住民の過半数以上の署名を集め、合併特別区長、同協議会会長の連名で市へ要望書を提出する。

(エ) 議会の議決  
以上の方針であるが、合併特別区の設置、政令指定都市へ移行、合併特別区の廃止という、5カ年で3回の住所表示が変更されるという全国に例のないことである。今後特別区協議会に説明すると共に、地域内で十分ご協議を頂きたい。

## 旭川水系の漁業の振興と河川環境の保全策は考えているか

森田 卓司

(1) 今後の旭川水系の漁業振興に対する取組をお聞かせ下さい。

- (2) 漁協等の方々の賛同を頂くことが前提だが、旭川ダムまでが岡山市であるため、プロジェクトチームを設置するなどアユの遡上研究、回遊魚や在来魚の復活、又、地域の環境調査、河原の再生など、旭川漁連や環境団体等を中心として、産・学・官・民連携の取組が必要であると考えているかどうか。
- (3) 旭川水系では取組んでなくて、他の水系での漁業・環境保全に対する取組はあるか。

### A 経済局長

(1) 岡山市に於いては、毎年旭川水系に約13万尾の稚アユを放流すると共に、漁場環境の保全を図るため、旭川の中州に自生している樹木の伐採作業等に対し支援をしているが、引き続き旭川水系の漁業振興に努める。

(2) 今年度、岡山県水産試験場が旭川に於いて稚アユの遡上調査等を実施し、漁獲量への影響要因について調査研究を進めている。旭川南部漁連や環境団体等を中心とした産・学・官・民連携の取組については今後検討をする。

(3) 今後、先進的な取組等を広く情報収集をする。

### A 高谷市長

市北部に位置する建部地域は、清流旭川が中央を流れ、美しい自然環境に恵まれた八幡温泉郷、たけべの森公園を中心とした観光交流拠点をも有する、これまでの岡山市になかった魅力溢れる地域でございます。以前にも申し上げましたが、このような豊かな水や緑、温泉などの地域資源を積極的に活用し、地域環境の保

全がキーワードとなる21世紀にふさわしい自然環境と共生した交流のまちづくりを展開してまいりたいと考えております。

特に、建部地域の旭川流域は、川魚の宝庫として知られ、全国レベルの釣り大会が開催されるなど、まさに自然環境との交流の場となつております。

又、清流のシンボルであり、初夏を告げるアユは有名で、私も以前建部のアユの塩焼きを頂いたことがあります。大変おいしいものでございました。

こうした本市の貴重な地域資源である旭川の環境保全・再生につきましては、関係機関と連携して積極的に取り組んでまいりたいと考えております。



恒例の元日フットボール大会(最多の16チームが参加)

## 実現可能な農業振興ビジョンの策定を望む

全市で統一される土地改良事業の負担割合

※ H21年度から実施予定

事業区分	施行区分	新受益者負担 (%)	負担割合の増減 (%)				
			旧岡山市	旧御津町	旧瀬崎町	旧建部町	旧瀬戸町
かんがい排水事業 (小規模土地改良事業)	土地改良区	0	0	△20	0	-	-
	市	0	0	-	-	△20	△10
農道整備 (3~6m、非補助土地改良事業)	土地改良区	4	1	△26	4	-	-
	市	6	3	-	-	△19	△19
農道舗装 (3~6m、非補助土地改良事業)	土地改良区	3	1	△27	3	-	-
	市	5	3	-	-	△20	△20
ほ場整備 (団体営土地改良事業)	土地改良区	13	1	△2	13	-	-
	市	15	3	-	-	0	5

全市が統一されることにより、負担割合は、建部地域で最大20%・御津地域で同27%の軽減となります。



トラック産直市 (岡山ドーム12月27日)

Q 森田 卓司

(1) ビジョンを策定する場合、現在の岡山市の農業の現状をしっかりと認識する必要がありと考えるが、どのような認識を持っているか。  
(2) 農業従事者等の方々と密接な関係をお持ちの農業委員会の委員、JA関係者の意見の反映はできるのか。

A 経済局長

(1) 本市は、気候条件がすぐれ、営農条件は大変恵まれている。現在では、他の市町村同様、生産者の高齢化、担い手・後継者不足、耕作放棄地の増加など深刻な課題を抱え、活力のある農業の確立が求められていると認識している。  
(2) 農業委員、JAの方々の意見をお聞きすることはもとより、将来を担う農業高校の生徒の方々のご意見や、パブリックコメント等を通じて意見聴取をして、生産者と消費者の意見が広く反映されるよう努める。尚、JA岡山においても、本年度営農振興計画を策定されると聞いており、その情報を得ながら本ビジョンを策定する。

## 学校給食が民間委託されても地産地消は確保できるのか。

Q 森田 卓司

A 教育長

(1) 平成21年度から、平福・幡多小学校、建部・瀬崎学校給食センターが新規に民間委託されると示されているが、現在まで実施している学校・センターで生じたトラブルはないか。  
(2) 学校給食運営委員会・地元関係者への説明会等は実施したのか。その際の反応はどうだったか。  
(3) 民間委託をすることにより、どのようなメリットがあるのか。  
(4) 今まで通り、学校給食の食材の地産地消を求めているが、地産地消は確保できるのか。

(1) 委託業務開始直後に、調理機器の使い方に慣れないため若干混乱があった例があったと聞いているが、大きなトラブルはない。  
(2) 学校を通じて保護者の皆様へ文章で知らせている。又PTA役員会等で説明をしたり、様々な機会を通して周知を図っている。説明会については、建部学校給食センターの運営委員会で説明を行っている。特にご意見ということはない。  
(3) 官民の切磋琢磨による、衛生管理の向上、運営経費の削減があげられる。その削減額は学校教育の設備等の充実に活用している。  
(4) 食材の購入や献立の作成は学校・センターの栄養職員が行います。学校・センター独自で地域の産物を利用することは、地域の特性を生かして実施をするので、地産地消の取り組みが変わることはありません。

Q 森田 卓司

## 国民健康保険料の健全な運営を望む

A 高谷市長

(1) 岡山市の1人当たりの国保料は政令市のなかで比較すると、3番目に高く県下でも高いレベルにある。国保会計は、医療費等の保険給付費を中心に歳入額を見込み、それに応じた歳入を確保するために保険料を算定するものであると考える。このままの状況で推移すれば近年中に保険料の引き上げをすることになるのではないかと。更に、景気低迷等の要因により保険料の滞納繰越が増加し、なおかつ滞納繰越になっても未納のままであると、欠損処分をすることになる。未納と欠損が増加し、歳入が欠乏し、保険料の引き上げをおこなうという悪循環に陥るのではないかと。  
(2) 特別区協議会から出される上げに冠する激変緩和措置についての要望書に対してのご所見は、  
(1) 建部地域の国保料の平成19年度の収納率は、95・49%である。  
(2) 建部地域の収納率に対してのご所見は、  
(1) 岡山市、建部町、瀬戸町の1市2町の合併協定に基づき、平成21年度から国民健康保険料を統一することとなっている。先に合併した旧御津町・旧瀬崎町においても、合併協定に基づいて岡山市の保険料と統一されているところをごさいますので、ご理解を頂きたい。



岡山市中央卸売市場初市 (1月5日午前4時~)

A 市民局長

(1) 岡山市全体と比べてかなり高い収納率となっている。建部地域の皆様方が、健康づくりや介護予防などの保健福祉の取り組みに長年力を注がれ、健全な国保運営に努めてこられた結果であると認識をしています。  
(2) 岡山市、建部町、瀬戸町の1市2町の合併協定に基づき、平成21年度から国民健康保険料を統一することとなっている。先に合併した旧御津町・旧瀬崎町においても、合併協定に基づいて岡山市の保険料と統一されているところをごさいますので、ご理解を頂きたい。



活力のある地域づくりを目指して!!

森田へのご意見・ご要望がありましたら...

TEL : 22-2237・22-9900 FAX : 22-9911  
携帯電話 : 090-1337-2249  
E-mail: t-morita@po12.oninet.ne.jp



Morita Takushi

編集後記

金融危機による世界的な景気の悪化が新聞等で報道されるなかで新しい年を迎えました。暗い話題が多く気持ちも沈みがちになります。が、こんな時こそ元気が、明るく前向きに色々なことを考えなければと思っています。個人質問のなかで、紙面の都合上掲載できない質問項目があります。特に国保関係の質問については、ご連絡をいただければ、別便でご報告させていただきます。